

# 14NJ愛知25隊指導者報告書

隊長 津田信秋

## 14NJへの目標

- \* ジャンボリーを安全に、楽しくすごす。

## サイトについて

- ・ サイト割りは、現地入りした8月2日（水）に、くじ引きにて決定。  
粘土質の為、水はけが悪い。そのため、雨が降るとぬかるむ。
- ・ サイト設計図を書いていなかった。（イメージは、していたが具体的には書いていない）
- ・ 簡易・常設ろ過器を作った
- ・ 日々の改善が出来ていない。
- ・ 掲示板設置していた為、同じ事を何度も聞きに来るスカウトが少なかった。

## 立ちかまど

- ・ 今回の14NJの生命線としている為、事前訓練、班集会でスカウトハンドブック（p・240）参照して、結び方をしっかり練習した。
- ・ 色々なひもを使用してみたが、コンバインの麻ひもが、**あんがい**扱いやすかった。
- ・ 丈夫に作ってあった為、期間中壊れるかとなく使う事ができた。

## 食事について

- ・ 食材があまってしまった。
- ・ 食事を作るのが遅い
- ・ 米は、無洗米を用意した。（40人で5キロが目安）
- ・ スカウトは、御飯を多く食べない。

## プログラム

- ・ 楽しく参加していた。

## 怪我・事故

- ・ 大きな怪我は無かった。
- ・ 副長が、ナタ、斧の使用方法について徹底させたお陰で、救護所へ行くことが無く良かった。
- ・

## 評価・反省

- 忘れ物が多いのには、ビックリしました。余りにも、名前が書いていない。
- 物を大切にしていない。  
たとえ、名前が書いてあっても、自分で J H Q, S C に尋ねなければ探せない。また、J H Q, S C では、愛知 北名古屋 1 団とか学校名 氏名が書いてあれば、本人の特定出来れば、本人に戻ってくる可能性がある。
- スカウトが、おきての最後（スカウトは感謝の心をもつ）について、珠洲への手紙（メッセージ）に表現されている。
- 一人でも多くのスカウトが、自発的な行動が出来るように成ってきたので嬉しい。
- 交歓会で、知り合ったスカウトと末永く交流して言って欲しい。
- ベンチャスカウトになって、15NJ で再開して欲しい。